

令和5年度 岩手県立水沢商業高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

校長		副校長		事務長		総務部長		記録者	岩崎 亜希 大石 美香
令和6年 1月12日(金) 13:30~14:40								場所	実践室
出席者	本校PTA会長 本校同窓会長 明浄会会長 水沢中学校校長 株式会社テクト社長 奥州市立水沢図書館長 本校校長 本校副校長 本校事務長 本校総務主任 本校図書部主任 本校総務部(記録) 本校総務部(記録) 本校生徒指導部			伊藤 正克 様 高橋 政志 様 高橋 信 様 村上 俊明 様 高橋 崇 様 佐藤 良 様 大石 恭平 下権谷久和 小森 美智 菅野 行健 中村 和宏 大石 美香 岩崎 亜希 柴田 真歩			備考	欠席4名	

- 1 開会のことば(副校長)
- 2 校長挨拶
- 3 協議

(1) 令和5年度活動報告(後期)について(進行:同窓会長 高橋政志 様)

事務局より

- ・別紙により、6月以降の生徒の活動について報告。
- ・資料以外のところで、JAまつりや商品開発の授業等で地域の方々の協力を得て活動できた。

図書担当より

- ・図書館の活動について(別冊)担当者より紹介。

○本のリユース活動について

今年度で3回目。すでに約400冊集まっている。水沢図書館の専門司書の方が窓口となり、様々な協力をしてくださっているおかげで続けられていることに大変感謝している。

○全国図書館大会の参加について

今年度初めて岩手で開催された。参加者は800名ほど。そのうちの100名ほどに対して事例報告をし、聞いていただけた。他県の先生方とPOP作成等について意見交換した。

○図書委員の活動について

活動を通して地域との連携を図っている。その結果、図書館利用者数や貸し出し数が増加している。

助言

委員A

コロナが5類になり、PTAとしても多くの活動が出来たことは大きかった。水商祭への参加は来年度以降も継続してほしい。挨拶運動をPTA役員の協力でおこなったが、タカトヨ前の横断歩道が危険だと感じた。交通安全に気を付けて登下校してほしい。

委員B

水商生の挨拶が良いことに感心している。水商祭でのPTAの活動(餅まき等)が続いているのは良いことだと感じた。感染症等での学級閉鎖に気を付けてほしい。

水沢商業に携わることができて良かった。常に応援している。

委員C

商業高校ならではの特色を活かして活動し、活躍されている。野球の活躍も素晴らしかった。図書館についてもPOP作成の活動など是非継続していただきたい。特色のある高校だと中学校でも伝えていきたい。準制服として夏にポロシャツを取り入れており、とても良いと感じた。本校でも参考にし、検討していきたい。

委員D

生徒の活躍が沢山あることに驚いた。もっとアピールしても良いのではないかと感じた。ごぞえんちゃハウスについては、レベルの高いことをやっていると感じた。地域を盛り上げる意味で、地場のものをブランニングするのも良いと感じた。若い力を生かして、様々PRできたらよいと感じた。

委員E

図書委員の皆様には自分の図書館と思いながら利活用していただき感謝している。一人当たりの読書冊数は、小学生14冊、中学生5.4冊、高校正2.0冊と減っている。電子書籍を読んでいる人数は高校生も同じくらいになっている。本の選び方は、小・中学生は学校の図書館で探しており、高校生はインターネットで探している。コロナ禍1・2年目は利用者も少なかったが、3年目はコロナ前より増えた。しかし、コロナが5類になり、図書館に来る方や借りる方が減ってきた。今後の方向性や進め方など、生徒たちとの相談会や勉強会など開けたらよいのかと考えている。

(2) 地域とのかかわり（挨拶活動）について

挨拶を軸に地域との関わり方についてご助言をいただきたい。

委員B

挨拶は家庭でのしつけの部分が多い。生徒の中には、学校以外のところで挨拶をしない人がいるのではないか。

校長から

生徒たちは挨拶はできるのだが、場所や状況が変わると臨機応変な挨拶ができない。イベントなどで受付を頼むなど、挨拶にこだわらず、様々な場面を設定し、経験することで、臨機応変に挨拶ができるようにしていきたい。

会長

祖父母と生活している小学生は挨拶をするが、核家族の小学生は挨拶をしない、返さないという傾向がある。中学生になると挨拶をしなくなる。もう一度挨拶ができるように高校で挨拶運動をすることは良いことだ。継続してほしい。

(3) その他

4 その他（諸連絡及び授業参観について）

- ・課題研究発表会（1月31日実施）のお知らせ
- ・授業参観について（任意）
- ・タカトヨ前の横断歩道の取り締まりについて連絡
- ・事故防止のために横断歩道付近に人感センサーライトを設置。

5 閉会のことば（副校長）